

-----9月5日-----

今週のアウトルック(9/5～9/9)

先週も通貨ペアによってまちまちな状況となりました。
ドル円は米国雇用統計を控え、どちらへも大きく動けず、ユーロとポンドは売られ、豪ドルは買われるという状況でした。
米国雇用統計もインパクトのある結果とはならず、当面は方向感のない状況が続く
かもしれません。

ドル円は、76.5円から77円の狭いレンジを維持しています。米国雇用統計の結果も微妙なものに終わり、今後はQE3の議論の状況に左右されそうです。ただ、あまりボラティリティが小さい状況が続くと、どちらかへ大きく動かそうとする動きも出てくるため、76円以下を狙う動き、あるいは買い戻しにのって、78円以上まで一時的に戻す動きも警戒する必要があるように思います。

ドル円の予想レンジは75円から78.5円です。

ユーロは、ユーロ円のこのところのレンジ下限である109円付近まで来ています。ユーロドルももう少しでレンジの下限付近に到達するため、再び上昇する可能性が高いように思います。

ユーロ円の予想レンジは108.5円から111.5円です。

ポンド円も、このところのサポートラインである124円付近で持ち堪えている感です。何も材料が出なければ、このまま124円から127円あたりのレンジを維持するように思います。

ポンド円の予想レンジは124円から127円です。

今週は、新規の材料が出にくく、ファンダメンタルズに関係なく、投機筋の仕掛け的な動きに左右されやすい状況のように思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。